



令和5年11月

桃山中学校ハッピー桃太郎だより

～誇りのもてる学校をめざして～



『地域とともにある学校をめざして』

校長 谷川 正己

夏の暑さがいつまでも続いていると思っていたら、秋を感じる前にいきなり冬の寒さが訪れるといった今年の11月。自然に囲まれた本校の周りの木々もすっかり色づき、ようやく紅葉を楽しむことができる今日この頃です。そんな紅葉スポットのオープンステージで、10月に行った文化祭前日に自主出演生徒によるステージ発表がありました。演奏あり、ダンスやよさこいの踊りありの発表会には、全校生徒のほか保護者や地域の方も鑑賞に訪れました。別日にはタレントの火野正平さんがNHKの旅番組収録に訪れるなど本校自慢の施設です。今後も日常的に保護者や地域の方が学校活動をご覧に訪れる場となるように、開かれた学校づくりを進めていきたいと考えています。

6月の便りでもふれましたが、今年は地域の行事に中学生の参加を、とたくさんの依頼が来ています。生徒会が中心となり呼びかけた結果、夏祭りの太鼓や準備・片付けのボランティアには延べ101名の生徒が力を発揮しました。また、先日行われた小羽山地区のふるさと祭りでは、延べ68名のボランティアのほか、吹奏楽部や3年生よさこい実行委員の37名も堂々とした演奏やパフォーマンスでステージを盛り上げました。地域のみなさんから大きな拍手が送られてとても誇らしかったです。このように中学生も地域の担い手の一員として、大いに期待されています。現在、12月初めにある地域の清掃ボランティアを募集中です。ぜひ、多くの大人と関わり、素直で頑張る桃中生であることを認めてもらい、自信と誇りを深めてくれるとうれしいです。

ふるさとを愛し、「地域とともにある学校」をめざしていきましょう！

